

(1) 郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進

- ・次代を担う児童生徒たちが我が国の伝統文化や歴史、風土に対する関心や理解を深め、尊重する態度を身に付けるとともに、郷土や国について発信することができる力を育むための教育活動を行う。

(小・中・高・特)

「ちば・ふるさとの学び」の取組の推進

- ・千葉県にゆかりのある先人や郷土の歴史、文化、自然に関する教材等を活用する。

(小・中・高・特)

郷土と国の発展に尽くした人々を学ぶ機会の提供

- ・歴史や伝統等への興味・関心、理解を深めるため、国家や社会の発展に大きな働きをした先人について学ぶ取組を行う。

(小・中・高・特)

邦楽や茶道など伝統文化の指導者による授業、部活動等への支援

- ・学校における文化芸術活動の活性化を図るため、優れた芸術家や伝統芸能の保持者を学校等に招き、演奏・実技指導を受ける取組を行う。

(小・中・高・特)

国旗・国歌の意義や大切さの理解を深める取組

- ・学習指導要領に基づき、国旗、国歌の意義やその大切さを教え、我が国及び諸外国の国旗と国歌を尊重する態度を育む。

(小・中・高・特)

海外から見た日本を知る機会の提供

- ・世界の歴史・文化・宗教など諸外国の様子について理解することをとおして、日本についての理解を深め、日本人としての自覚とアイデンティティを醸成する。

(小・中・高・特)

(2) 多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成

- ・国際的な課題や世界の歴史・文化・宗教などについて教科・科目を横断した取組を充実し、日本人としての自覚とアイデンティティを確立し、異文化理解を重視した教育活動の推進を図る。

(小・中・高・特)

グローバル化に対応する教育環境の構築

- ・学校教育活動全体を通して異文化理解を深める中で、広い視野に立ち、言語、文化等の違いを越えて関係を構築する能力を養う。

(小・中・高・特)

国際的に活躍できる人材の育成

- ・他者を尊重し、協働するためのコミュニケーション能力等のグローバル化に対応した資質・能力を育む。

(小・中・高・特)

高校生等の海外留学の促進

- ・海外留学に関する情報の周知を行う。

(高)

- ・海外姉妹校等へ生徒を派遣する学校行事を充実させる。

(中・高)

